

OSAKAMINAMI Medical Center

独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター

がん診療のご案内 Cancer treatment book





「からだにやさしい」 がん低侵襲手術

高齢化が進む南河内医療圏において、低侵襲手術、つまり「からだにやさしい」手術を行うメリットは非常に大きいと考えています。低侵襲手術の代表ともいえる腹腔鏡下手術は高度な技術を要しますが、大阪南医療センターの外科には日本内視鏡外科学会技術認定医が所属しているため、安心して手術を受けていただくことができます。さらに当院では「4K腹腔鏡システム」を使用しており、より精緻な映像を確認しながら手術を行うことが可能となっています。

良性疾患から高難度の 腹腔鏡下手術まで

当院では、これまで難しいとされていた肝臓がんや膵臓がんの手術でも、適応を配慮しながら腹腔鏡下手術を選択できるようになりました。ロボット支援下手術については国内においてその安全性と根治性がより強固なものとなれば、当院での導入もそう遠くはありません。すべての領域におけるがん腹腔鏡下手術の手技を高めることにより、いずれロボットを導入した際でもその技術力を遺憾なく発揮してくれることでしょう。その時を見据え、今は目の前の手術一つ一つを丁寧に、外科医の心(こころ)を込めて取り組むばかりです。



診断

当院では、上部消化管内視鏡検査や大腸内視鏡検査の際に、通常内視鏡に加えて、特殊光観察(NBI)、拡大観察、色素内視鏡などを併用し、消化管悪性腫瘍の早期発見および正確な進行度診断に努めています。

また、胆膵領域の悪性腫瘍については、逆行性胆管膵管造影(ERCP)や超音波内視鏡(EUS)、超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNA)などを用いて、的確な診断に取り組んでいます。

悪性腫瘍と診断がついた症例に関しては、定期的に外科と合同カンファレンスを行って、適切な治療方針を決定しています。



消化器科医長、内視鏡室長 笹川 哲

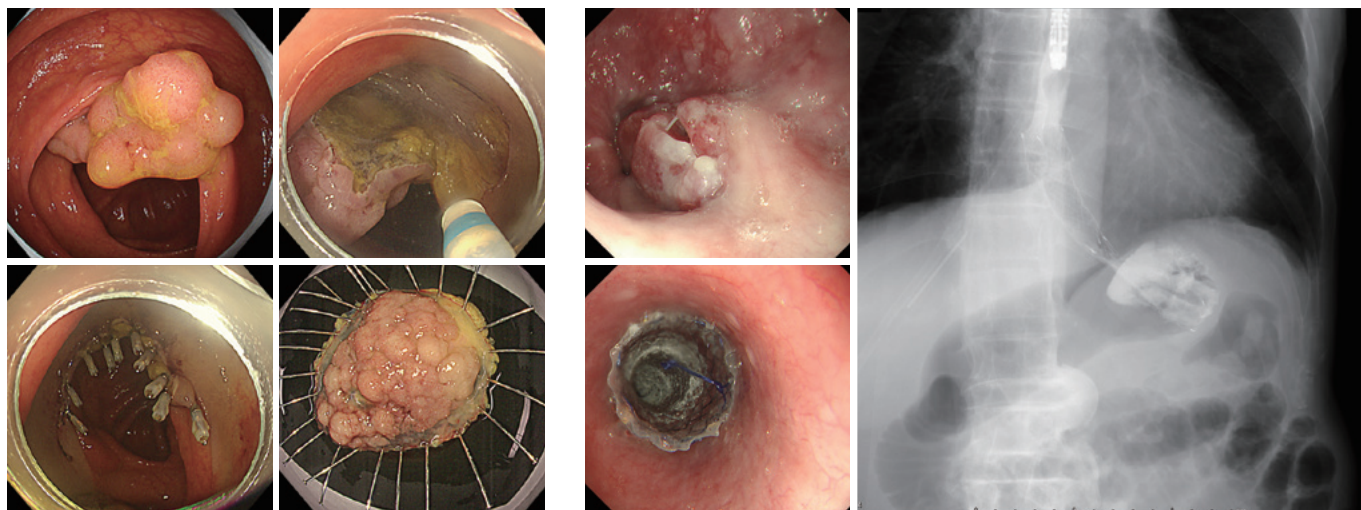


消化器科 外科 合同カンファレンス

消化管悪性腫瘍に対する治療

早期の胃癌、大腸癌に対しては、粘膜切除術(EMR)や粘膜下層剥離術(ESD)を中心に内視鏡治療を行っています。

また、進行癌による消化管狭窄に対しては、外科的切除前の状態改善あるいは症状緩和を目的として、内視鏡を用いたイレウス管挿入や消化管ステント留置術を行っています。

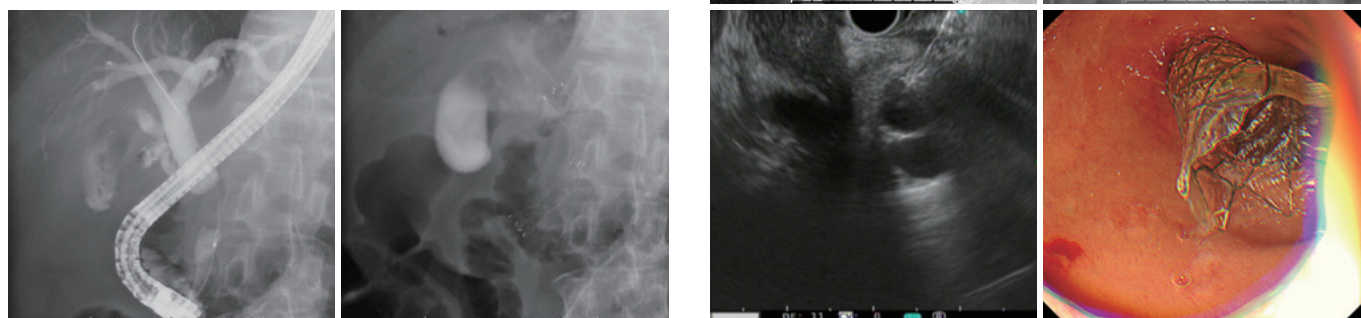


大腸ESD

食道ステント

胆膵領域の悪性腫瘍に対する治療

悪性胆道狭窄に対してはERCPによる胆管ステント留置術を中心として対応しています。また、経乳頭的あるいは経皮的な胆管へのアプローチが困難な症例については、EUSを用いた胆道ドレナージ(EUS-BD)も施行しています。



胆管ステント

EUS-BD

スムーズな外来受診と迅速な手術対応

大阪南医療センターの乳腺外科では、月・水・金の週3回の外来診療枠に、紹介患者さんの制限を設けておりません。予約のない当日受診でも対応しております。また、診断により手術適応となった場合は、初診日から最短2～3週間と、長期間お待たせすることなく手術を行うことが可能です。



薬物療法について

抗がん剤やホルモン剤、免疫チェックポイント阻害剤や分子標的薬剤などを併用し、患者さん一人ひとりに合わせた薬物療法を行っております。乳癌に関しては現在保険収載されている最新の薬剤まで使用可能となっています。これら複数の薬剤を組み合わせた治療には、多様な有害事象のリスクも含まれますが、当院では9月よりがん薬物療法サポートチームが始動し、より安全な薬物療法を実施しています。



乳腺外科

Breast Surgery

当科には常勤の女性乳腺外科医も在籍しており、患者さんのご希望に沿った対応が可能です。



乳腺外科医長

藤岡 大也

日本乳癌学会乳腺専門医・指導医

日本外科学会外科専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本乳がん検診精度管理中央機構

検診マンモグラフィ読影認定医

乳腺外科専攻医

南 永里加

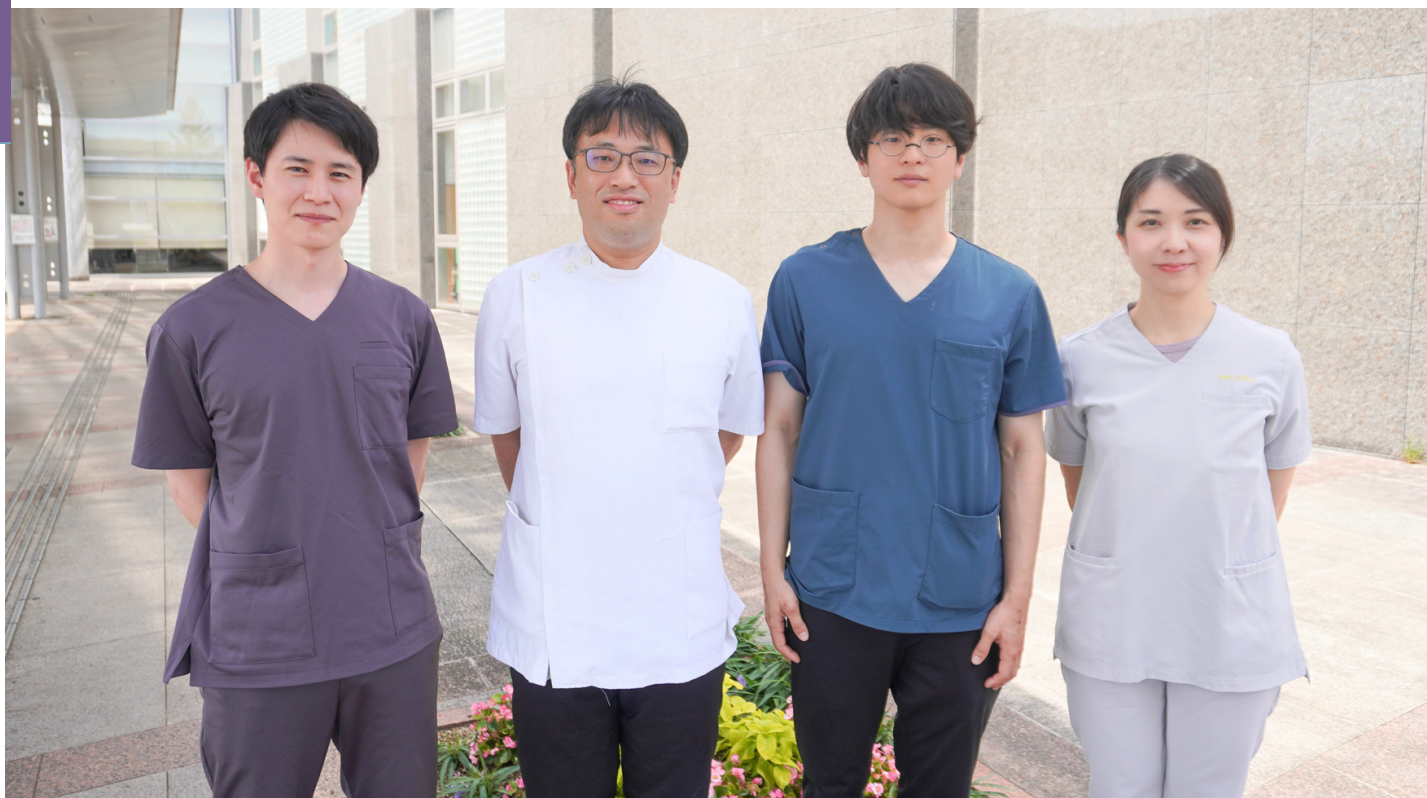
日本乳がん検診精度管理中央機構

検診マンモグラフィ読影認定医

[oncology]

腫瘍内科

腫瘍内科



腫瘍内科は、2022年4月より呼吸器内科から独立しました。現在、日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）として認定されています。当院は地域がん診療拠点病院でありその中の腫瘍内科として各科と連携して横断的に薬物療法の診療支援をしたいと考えております。また緩和ケア病棟も開設され、がん患者さんの症状緩和についても積極的に関わっていきます。

診断について

当科では胸部異常陰影などで受診された患者様について、気管支鏡検査（超音波気管支鏡検査ガイド下針生検含む）や局麻下胸腔鏡による組織診断を行っています。また放射線科と協力し、**肺だけでなく骨など様々な部位**の、CT/エコー下生検での組織診断も積極的に行っています。他臓器の診断についても外科・消化器科など専門家とも連携して行っています。

このような症例がございましたら
大阪南医療センター腫瘍内科に
ご紹介ください

- **がん検診異常**
（胸部異常陰影など）
- **原因がわからない胸水**
- **何らかの腫瘍を疑う症例**
（どこかわからない場合なども含めて）



当科での診療内容

肺がん・原発不明がんや希少がん（神経内分泌がん・肉腫など）を中心とした腫瘍の診断・治療（薬物療法・放射線療法）や症状緩和を行っています。またそのほかの臓器を原発とする悪性疾患（消化器・泌尿器・婦人科腫瘍など）の薬物治療や副作用マネジメントも他科と共同し診療しています。入院中・外来中とも、がんと診断された時から、当院緩和ケアチームとともに状況に応じたサポートを行える体制を整えております。緩和ケア主体の治療となったときは当院の緩和ケア病棟や在宅医療専門医と連携し、ご本人の希望に沿って安心して過ごせるようにしています。

原 発 部 位	症例数
肺	295
食 道	6
胃	17
大 腸	9
胸膜中皮腫	13
軟部肉腫	2
原発不明	20
その他	13

2023年度 腫瘍内科
がん 部位別症例数（入院）

外来診療体制

外来日は、月～金の週5回毎日行っており、夜間・休日の救急対応を含めて、急な症状にも対応できる体制を整えております。

どの種類のがんの内科的診断・治療であっても当院で対応致しますのでお気軽にご相談下さい。

原発部位がわからないような腫瘍性病変についても当科にご紹介ください。適切に対応致します。

当科の特徴

当院は免疫異常の専門家のいる病院であり関節リウマチを中心に免疫異常に合併したがん患者さんも多くおられます。近年免疫チェックポイント阻害薬が使用可能となり、治療成績はどの癌腫も大きく改善しています。その一方で薬剤による有害事象も多様化しており、特に免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象として全身臓器（皮膚、肺、腸管、内分泌など）に症状が出現したり元々の免疫異常が悪化したりすることがあります。当科では免疫異常を合併している患者さんにおいても専門家と協力し、リスクをなるべく軽減しながら患者さんごとに合ったがん薬物治療を提供しています。

当院はがんゲノム医療連携病院であり、当科外来で保険診療でのがん遺伝子パネル検査を行っております。

＊胸部悪性腫瘍の手術適応例については近隣の呼吸器外科を中心に他院へ紹介いたします。患者様の希望があるときは当院で術後補助化学療法を含めたフォローも行っています。

スタッフ紹介

7月より1名増員し、より多くのがん診療をお受けしております。



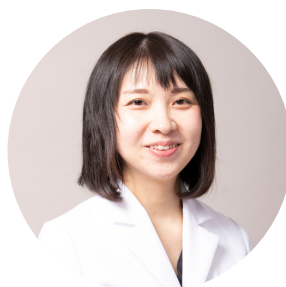
腫瘍内科医長
がん研究室長
がんゲノム医療推進室長

工藤 慶太



腫瘍内科医師

磯本 晃佑



腫瘍内科医師

中島 早希



腫瘍内科医師

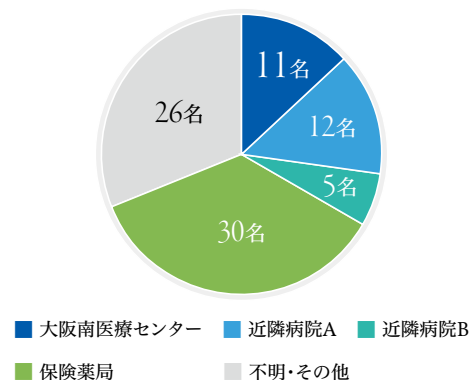
渡邊 暁



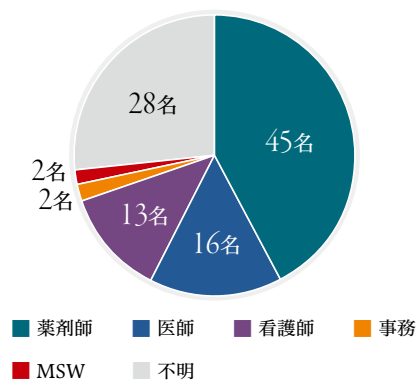
がん薬物療法サポートチームの活躍

昨年9月より、専門資格をもつ医師、看護師、薬剤師からなるがん薬物療法サポートチームが始動しています。irAE(免疫関連有害事象)を含めた副作用コントロールの対応について、専門的な観点で介入、アドバイスをを行い、当院内における薬物療法のサポートをしています。また、医療関係者向けに勉強会を開催し、薬物療法に関する実際の症例の共有、解説をしています。12月に行われた勉強会では、全体の参加者106名のうちWEBからの参加者が84名、そのうち30名は地域の保険薬局の方であることがわかっています。また、全体のうち45名が薬剤師であり、薬物療法への関心の高さと、勉強の機会の必要性を感じました。今後も院内外問わず、薬物療法に関する様々な場面でサポートをしていきます。

勉強会のWEB参加者 内訳



勉強会参加者の職種 内訳



患者さん一人ひとりに合わせた 最善のがん薬物療法を

当院では入院、外来の両方でがん薬物療法を実施しています。すべてのがん種において、腫瘍内科、血液内科、外科、乳腺外科、消化器科等が共同し、横断的に適切な薬物療法を行っています。

また、当院は免疫異常の専門医がいる病院であり、関節リウマチを中心に免疫異常に合併したがん患者さんも多く対応しています。近年、免疫チェックポイント阻害薬が使用可能となり、治療成績はどのがん種も大きく改善してきていますが、その一方で薬剤による有害事象も多様化しています。当院ではそのような合併症を持つ患者さんにおいても専門医と協力し、リスクをなるべく軽減した薬物治療を提供しています。



治療中の悩みを和らげる 外見ケア(アピアランスケア)

がん治療を続けていると、髪、爪、肌などの外見に変化が現れます。患者さん自身が気にならないければ問題はありませんが、自分らしくいたい、周りの人の視線が気になる、などの悩みを持たれる方のために、外見ケアを実施しています。患者さん向けには毎月第4金曜日に「外見ケア相談会」を開き、ウィッグや、ネイル、スキンケア用品の紹介など、気軽にお立ち寄りいただける体制を整えています。職員向けにも「外見ケア勉強会」を実施し、がん患者さんが日々の生活の中で感じる悩みを知る、実際にウィッグを着用してみるなどの機会を設けています。



がん相談支援センターは
どなたでも無料・匿名で利用できる
がんに関する相談窓口です

がん相談支援室 医療福祉相談室



長期的な就労支援を実施

がん相談支援センターでは、がん患者さんのみならずご家族、また、地域の関係機関の皆さまからのご相談に応じております。

がんになられると、治療、療養上に様々な困りごとが発生します。受診の場所やその方法、医療の決定、経済的課題、家族の問題、不安などの精神的側面、看取りなど様々です。そして、その中には、「仕事」に関する困りごともあります。

- がんについて会社にどう伝えればよいか。伝えることで、職場で不利になることはないか。
- 仕事と治療を両立できるか心配。
- 仕事の都合に合わせて、治療のスケジュールを調整してもらえるか。

がん相談支援センターでは医療ソーシャルワーカーや公認心理士、看護師、その他スタッフが、一緒に考え、解決に向けてサポートいたします。診断や治療の状況にかかわらず、どんなタイミングでもご相談いただけます。相談は無料、秘密は厳守いたします。おひとりでも悩まず、お気軽にご相談ください。



ハローワークと連携した就職支援を開始

大阪南医療センターのがん相談支援センターでは、当院に入院・通院されている患者さんを対象に、がん等の治療をしながら働きたい方をサポートできるよう、ハローワーク河内長野と協働し、就職活動のサポートを始めました。

対象となる患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご活用いただけるようお知らせいただければと存じます。



～大阪南医療センターに入院・通院されている皆様へのお知らせ～

がん等の治療をしながら働きたい方をサポートします

こんなことでお困りではありませんか？

- 自分の病状、体力にあった仕事を見つけたい。
- 今の仕事を続けるべきか、次の仕事を探すべきか迷っている。
- ブランクが長く、仕事に戻ることに不安を感じている。
- 仕事復帰に際して、どんなスキルが必要か知りたい。

こんな悩み・不安をハローワーク河内長野が解消し、就職活動をサポートします

ハローワーク河内長野は、お仕事を探されている方から在職中の方まで病状、治療状況などを考慮して、マンツーマンであなたの就職活動をサポート！

- 求人状況の説明・相談
- 希望条件の整理、求人の検索・紹介
- 仕事復帰の不安解消の相談
- 応募書類の作成や面接の受け方のアドバイス
- 職業訓練や就職支援センターなどのご案内

予約制

ハローワーク河内長野の職員が
第1通水曜日13:00～16:00
患者情報コーナー隣だまりにて皆さまの相談に応じます。
ぜひ、ご利用ください。

お問合せ TEL(0721)53-5761
大阪南医療センター「がん相談支援センター」
時間:9時～17時(土日祝日、年末年始除く)
お電話あるいは直接来室いただきご予約をお取りください。

大阪南医療センター・ハローワーク河内長野 大阪労働局 厚生労働省

緩和ケア病棟

入院対象となる方について

がんやその治療による苦痛の症状緩和に対する積極的ケアを必要とする方が対象です。また、自身の病名や症状について理解している方が対象となります。

緩和ケア病棟においては、原則として治癒を目的とした医療行為は実施しません。



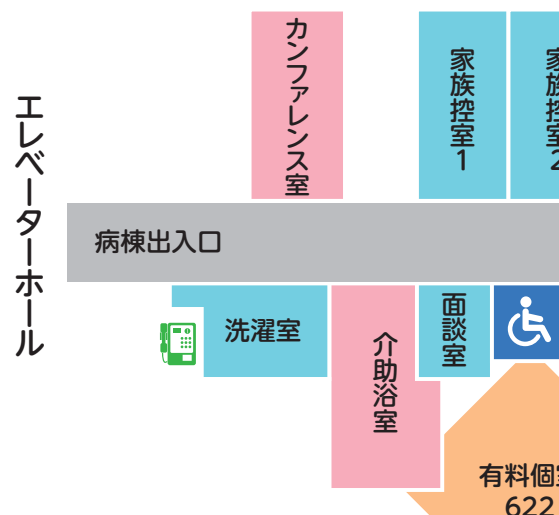
特別有料個室(洋室)



特別有料個室(和室)



患者用台所



緩和ケア病棟では次のようなことを行います。

緩和ケア病棟でできること

- 治療や病状の進行にともなう身体・心の苦痛の緩和
- 食事・入浴・排泄等、日常生活のお手伝い
- 医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーやその他多職種からなるチームとしての連携による患者様のケア
- 患者様のみならず、ご家族の悩みや不安を軽減し、安心して療養できるようサポート

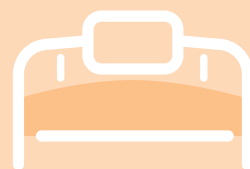


病室のご案内

全室個室のため、自分らしくお過ごしいただけます。ご家族等、大切な人との時間をゆっくり過ごすことができます。

【病室数：18室】

- 有料個室9室
特別有料個室（2室）
有料個室（7室）
- 無料個室9室



緩和ケア病棟



入院費用



緩和ケア病棟の入院費用は他の一般病棟と同じく健康保険が適用されます。医療費と食事療養費の自己負担額が発生しますが、高額療養費制度が適用されます。

また、有料個室に入院された場合は、保険外負担として料金が別途自己負担となります。

外来診察予約・検査予約の流れ

かかりつけ医（紹介医）

- 1 診療情報提供書、申込書、同意書をFAXしてください。
必要書類を 当院ホームページよりダウンロードしてください。

- 2 予約をお取りして、当院より「予約通知表」をFAXさせていただきます。
※患者様へ「予約通知表」と「診療情報提供書の原本」をお渡しく下さい。

- 3 患者様は、「医療保険証」「予約通知書」「診療情報提供書の原本」を持参のうえ、当院1階「紹介状をお持ちの方」の窓口へお越しください。受付後担当科へご案内します。

地域医療連携室

先 紹 連

TEL (0721)50-4415

FAX (0721)50-4416

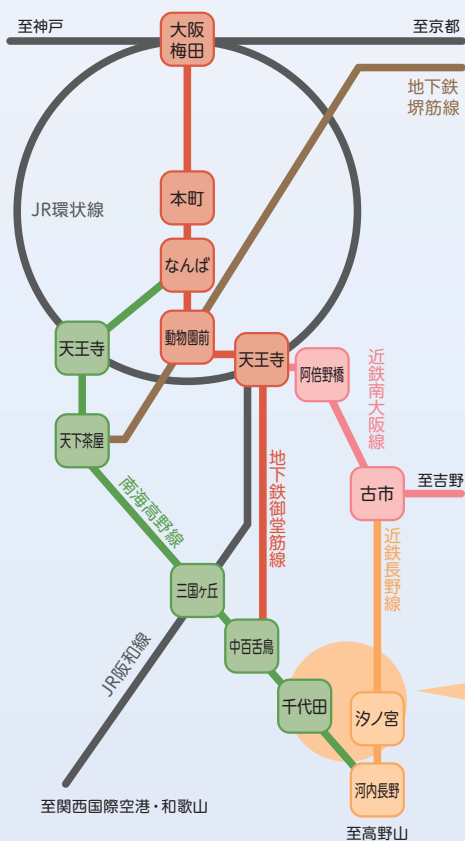
※FAXは、24時間受付ておりますが
受付時間外は翌日の処理となります。

受付時間

月~木 9:00~17:15

金 9:00~20:00

± 9:00~13:00



独立行政法人国立病院機構

大阪南医療センター

〒586-8521 大阪府河内長野市木戸東町2-1

TEL : 0721-53-5761 (代表)

FAX : 0721-53-8904 (代表)

